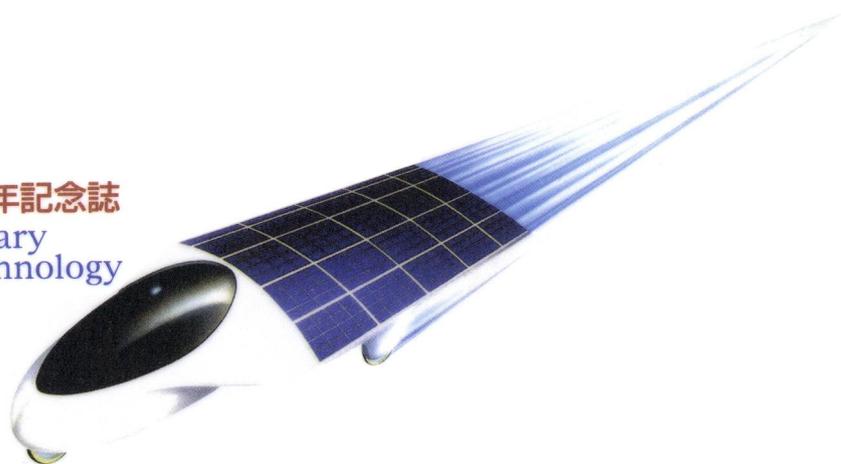


北見工業大学創立40周年記念誌
the 40th anniversary
Kitami Institute of Technology
1960-2000



自然と調和するテクノロジーの発展を目指して

北見工業大学創立40周年記念誌
the 40th anniversary
Kitami Institute of Technology
1960-2000



創立40周年を迎えて



学長 厚谷 郁夫

本学は昭和35年に北見工業短期大学として創設され、昭和41年に北見工業大学に昇格し、さらに、昭和59年に大学院工学研究科修士課程（現博士前期課程）が設置され、そして平成9年には、大学院工学研究科博士後期課程が設置され本年3月完成年度を迎えました。斬くして本学の、充実・発展の節目ともいえる西暦2000年6月13日をもって創立40周年を迎えることとなりますが、この間、本学は一般教育等を含む学科の改組・再編を断行し、現在の機械システム工学科、電気電子工学科、情報システム工学科、化学システム工学科、機能材料工学科、土木開発工学科の6専門学科及び共通講座（人間科学）に統合発展させてきました。また、附属教育研究施設としては、保健管理センター・情報処理センター・地域共同研究センターを設置したほか、平成11年には地域共同研究センターが830㎡増、さらに機器分析センター（1200㎡）の設置も認められました。

一方、本学は平成7年以降中国（3大学）、韓国（3大学）、フィンランド（3大学）、ポーランド（1大学）の大学と国際教育研究交流協定を締結し、現在では9か国から60人弱の留学生を受け入れるまでに至っております。このように本学は、国際研究教育交流及び留学生の支援あるいは学生の課外活動の活性化等を目的に、学生後援会を設立したほか、平成11年には新しい学生寮（男子107人、女子8人、外国人留学生26人）を設立し、さらにこの学生寮に隣接して国際交流会館も平成11年9月には完成するなど、学生の教育環境の整備充実のため努力いたしております。

現在、本学は学生総数約2000人（学部学生1680人、大学院博士前期（修士）課程220人、博士後期（博士）課程50人、留学生60人）を擁し、創立以来10000人の卒業生を輩出し、社会の各分野で多大の貢献をなしておりますことは、まことに慶賀に堪えないところであります。

本学の40周年は、奇しくも西暦2000年、世紀末、取り様によっては世紀始めの年であり、この節目の年に21世紀に向けて、本学の成長の足跡を振り返ると同時に、教育研究に対する本学の将来展望を明確にし、本学が工学系単科大学として、どのようにしてこれから社会の要請に対して貢献していくかを国内外に明らかにすることは、非常に有意義かつ本学の責務であると思っております。21世紀は、本学のモットーとしている「自然と調和する科学技術の発展を目指す」ことがますます重要となり、本学はこの理念に基づいた個性豊かな北見工業大学の発展を目指して、40周年記念式典、国際シンポジウム等を開催し、これを契機に21世紀に向け新しい第1歩を踏み出したいと考えております。その一環として、本学の40年の足跡を見つめるための記念誌をここに発刊することになりました。本記念誌が温故知新の役割を果たしていただければ幸甚の至りです。